

## 令和6年度 第1回燕市人権教育・啓発推進委員会 会議録

日時：令和6年8月1日（木）午前10時00分～11時25分

場所：燕市役所 4階 会議室401

出席委員：藤本晃嗣委員、松尾和浩委員、松井淳委員、藤田秀典委員、  
木部正実委員、古川真哉委員、袖山光子委員、小越ゆみ子委員、  
小平松雄委員、太田友美委員（10名）

欠席委員：長谷川均委員（1名）

事務局：市長、市民課長、市民課事務局2名

傍聴者：なし

### 1. 開会

### 2. 委嘱状交付

### 3. 市長あいさつ

### 4. 委員紹介

委員、事務局紹介

### 5. 委員長、副委員長の選出について

（委員長あいさつ）

（副委員長あいさつ）

委員長、副委員長あいさつ終了後、市長退室。

### 6. 議事

#### （1）令和6年度・令和7年度のスケジュールについて

（委員長）それでは、議題（1）「令和6年度・令和7年度のスケジュール」について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より説明）

（委員長）事務局の説明が終わりました。（1）令和6年度・令和7年度のスケジュールについて、ご意見、質疑等ありましたら発言をお願いします。いかがでしょうか。

（特になし）

## (2) 燕市人権教育・啓発推進計画の進捗状況の確認について

(委員長) 次に議題の(2) 燕市人権教育・啓発推進計画の進捗状況の確認について、事務局より説明をお願いします。

(事務局説明)

(委員長) 事務局の説明が終わりました。(2) 燕市人権教育啓発推進計画の進捗状況の確認について、ご意見、質疑等がございましたら発言をお願いします。いかがでしょうか。

(委員) 12月中に庁内委員14名の方に委員会を開催して実績を報告してもらおう形だと思いますが、新年度に入って担当者の説明会はもたれたのでしょうか。

(事務局) まだ、庁内委員にスケジュールの説明はしておりませんが、この場で承認をいただいて、早急に打ち合わせを考えています。

(委員) 4月から計画が動いているので、数字の積み上げはどのように報告するのかと思いました。ある程度説明をした中で、評価項目に基づいて実績を積み上げていくと思うのですが、説明がこの委員会の後であると、4月からの部分はどのように把握されるのか、その確認です。

(事務局) 数字については、計画の中で達成目標を上げておりますので、担当は5年間で目指す数字は承知していると思います。これから説明してもそう問題はないと思います。法令関係、相談件数等5年の計画の中であげていきますので、そこのところについては大きな問題はないと思いますが、庁内委員には、早めに周知することを考えています。

(委員長) 他の委員は、ご意見等ありますでしょうか。

(委員) 新たに委員会を立ち上げられて、計画も大変苦勞して作られていて、このスピード感で企画された皆さん、尊敬しております。ありがとうございました。

他の自治体の委員会にも出ていますが、このようなスピード感で新たなものを立ち上げることは、かなり努力されたのだろうと感じています。成功するところでは、ここに出席の皆さんは、それぞれの専門的なところで、窓口機能や団体としての課題を把握していると思います。そこで、資料2

では、WEBサイトで周知するとありますが、そういうところで集まってくる意見や委員の皆さんからの意見を具体的にあげていただいて、この計画の資料に加えて内部討議できるように吸い上げていただけるような仕組みができるといいと思います。委員にアンケートか窓口相談についての状況など返していただければ、より良いものになると思います。

(事務局) 2月に委員会を開催して、そこでいただいた質問、意見を取りまとめて、庁内委員に渡して、それを踏まえて翌年度に反映していただければと当初から思っておりました。

(委員) よろしくをお願いします。

(委員長) 今のご意見に関連していることですが、私どもからのコメントを出せるのがスケジュールを見ると1月。委員のご意見は、12月の庁内委員会に私どもの意見を出したいということでしょうか。

(委員) そこに間に合えばということですか。

(委員長) もし、それを検討していただけるのであれば、12月と1月のスケジュールを少し工夫していかないと難しいのかと思うのですが、1月に私どもの質問があつて、もう一度庁内で検討していただいて、その内容が2月に出てくるのであればいいのですが、そこまでスケジュールが取れるのか心配。そのあたりはいかがでしょうか。

(事務局) スケジュール的には、更に工夫しないと難しいと思います。私のイメージですと、事前に結果が出ないとコメントできないと思いましたが、あくまで庁内委員から数字を出してもらってから。それをご覧いただいて、そこで初めて意見が出るのかと、考えていました。委員のお話ですと、その前にも意見があれば吸い上げて、庁内委員会に示してほしいということでしょうか。

(委員) できればそういうことです。私たちが作った計画が、自分達が見ているところと違うところで課題が起きていて、それは解決しなければならない、あるいは自分達が想定しなかったことがあるのではないかという意見があれば、あらかじめ出していただきたい。

(事務局) 例えば12月に庁内委員会を開催するとして、この前段階で委員の皆様、ここまでの進捗について、開催するにあたり質問・ご意見をお聞きし、それを加えて、12月の庁内委員会に話をもっていき、検討するとイメージでしょうか。

(委員) イメージとしてはそうです。普段から計画があつて、それが動いていて、そのことについて、私達が委員として一定の期間、情報収集をして、普段の仕事の中で新たに分かったことがあれば、反応する。次期の計画を策定するときも、見落としなどあると思いますので、それを反映させていくことにも繋がっていくと思います。課題として出てくるかもしれない。何回も委員会ができないのであれば、あらかじめ文書で出していただいたものを見てもらう。気付いたことがあれば出してもらう。

(事務局) そのために委員会を開催するというのは、スケジュール的に難しいと思いますが、進捗のなかでご意見がありましたらという照会の形でよろしいでしょうか。ご意見として承りましたので、細かい内容については、改めてお伝えします。

(委員) それで結構です。

(委員長) 他に質疑等ございますか。

(委員) 資料2の②になりますが、真ん中の区分のところで、目標値、実績値、達成度、評価課題とありますが、達成度と評価はまとめられるのではないのでしょうか。評価の上の方に5段階と記載されていますが、ここにパーセントを記載してしまえば、達成度は削除できて、評価だけにできる。その方が5段階で3なのか4なのか分かりやすい。実施項目、取組項目がたくさんあるなかで、1行減るだけで皆さんのデータ入力や、出力枚数が減るのではないかと思いました。削除できないのなら、無理にとは言いません。

(委員長) 事務局、いかがでしょうか。

(事務局) 最初に言われた達成度と評価の項目は、まとめられるのではないかというご意見をいただきました。これにつきましては、少し工夫をすれば、まとめられるのではないかと思います。ご意見に沿ってその方向で直させていただきます。それを含めて、まだ案の段階ですので、大きく変わるような

内容であれば、皆様にご報告が必要だと思います。今の達成度、評価につきましては、この場で直ささせていただき認識をお願いします。その他、細かいことについては、必要であればご報告いたします。

(委員長) 他にございますか。

(委員) 2点お願いします。まず評価の在り方に関わって、資料2-1記入例の備考のところに入権講座の際、提出されたアンケート結果について、いろいろと書いてありますが、この部分が非常に大事だと思っています。理由は私自身がこの2次計画策定に関わってきたので、自己批判をしなければならない部分もあるわけですが、全体としては主催者側の回数、あるいは数値目標の評価になっているという印象です。例えば講演会や研修会を4回しました。4回したので達成目標はクリアしたので評価としては、良い評価です。というよりもそもそもの内実を問うていかなければ、活動自体は充実していかないの、いわゆる主催者側の自己評価が主になるのではなく、もっと大事にしなければならないのは、その内実に関わる評価の詰め部分、2次策定のときに、私も力が及ばなかったところかなと思っています。言いたいことは、右端の備考のところ、参加した人たち、あるいは研修会そのものがどういう評価を参加者がしていたのかを、何かしら担当係から記入していただくような欄として有効に活用してもらいたい。

2点目ですけれども、日程についてです。例えば次回、推進委員会のメンバーには、12月末現在で庁内委員会を開催した後にその資料が送られる。そうすると庁内においては、次年度をまたぐと担当が変わることもあるので、年度中がよいという気持ちもあるのかと思います。我々がこの委員会に参加をして、より良いものにするために、委員それぞれが意見を発信する。そうしたときに、中間報告のような形で、6、7月中くらいにできないのかと思います。行政側としては、年間にいろいろな活動がある中で、まだ継続しているものがあり、1年間の日程を考えた場合には、12月しかないという意向もあるのかと思いますが、そこを中間検討会ということで設定して、来年度以降、私達が出した評価の改善に関わる、あるいは数値目標に関わる改善点が、春先からの進捗状況を一度、6月、7月なり報告してもらって、それを受けてどのようにブラッシュアップしていくかというような日程も可能なのかと思っています。端的にいうと、主催者側だけではなく、参加した人たちの内実の評価をしてもらいたい。日程について、委員の評価に関する意見が反映されるように、来年度以降は、中間報告会

をすることによって、行政の皆さんの各担当の評価の仕方というものがブラッシュアップしていくものと考えます。

(委員長) 事務局いかがでしょうか。

(事務局) 1点目ですが、資料 2-1、一番右側の備考欄の内容が一番大事であると思います。この資料 2-1 については、取組に対しての実績だけではなく、評価のコメントがあれば、それを受け、それに対してどのように考えているか、詳細を記入してもらおう。備考欄という設定では、伝わりにくいので、こちらの意図が伝わるように、項目を工夫していきたいと思います。単に結果だけではなく、その先どう考えていくのか、わかるようにしていきたいと思います。

補足ですが、参加者の評価が大切ではないかとのお話でした。例えば人権教育の講演会であれば、参加してくれた人が、講演会によってどういう意見があったかは、アンケートを取って知ることはできます。参加者の意見や評価を委員さんは知りたい部分だと思いますので、書けるようにして、他課に関しても数字だけあがるところもあるでしょうし、数字ではなく別の評価の仕方もあると思います。講演会に関しては、参加者の評価が大事であることを委員の皆様にお伝えできるように工夫していきたいと思います。

(委員) この会議が終わってから、今日のこの会議を受けて、担当としては、各課の担当者を集める中で、このような記入例、評価の方法によって進めていってもらいたいという、動きになっていくとの理解でよろしいでしょうか。

(事務局) 庁内委員に集まっていただいて、このような評価を委員の皆さんは、知りたい部分であるということをお伝えしたいと思います。

(委員) 今ほどの、講演会アンケートに対する補足ですが、アンケート回答率が 60%で、おそらく任意での回答だったのでは。必須というのは難しいかもしれませんが、必須も任意も言わずに、アンケートに答えてくださいということで、講演会の前に配布する。メモをとれるような形式にしておくことで、回答率は上がると思います。弊社でもアンケートを実施するとき、任意と言うとなかなか集まらない。いつまでに回答してくださいと言うと、ほぼ 100%の回答率となります。そうすると、講演会に出るような意識の高い方からの声をもっと拾えるのではないのでしょうか。

(事務局) 去年ですが、講演会のときに、委員が言われたようにアンケートを実施しました。入場の際、受付でアンケート用紙をお配りして、帰りに箱に入れてくださいとのお願いをしました。アンケートの回収率は良かったと思います。委員が言われたような形でやっていきたいと考えています。

(委員長) 日程についてお願いします。中間検討会についてです。

(事務局) 日程の関係ですが、次年度に中間報告というようなご意見だと思いますが、6年度については、今回の開催と2月の開催でいくとして、6年度は確定とします。その先にそれを踏まえて、中間の開催があった方がいいのではないかとのご意見でした。

(委員) 6年度末の動きを受けて7年度の動きとして、中間報告が6月か7月にあるといいのかなと思います。そうすると委員の意見は、より反映されやすいし、前年度の意見や考え方が、どういうふうに令和7年度に反映しているのか、早い段階で皆様からお知らせしていただくと、我々ではできるとよいのではないかと考えています。回数の問題もあると思いますが、7年は1回と書いてありますが、2回になるということですね。私は、年度2回であればいいのかなと考えています。

(委員長) いかがでしょうか。

(事務局) 委員の皆様が、その形でということであれば、より良い意見が出ると思いますので、今年度は難しいと思いますが、来年度につきましては考えていきたいと思います。皆様はいかがでしょう。副委員長が言われたように、中間報告等あった方がいいと考えられます。

(委員長) ぜひ、ご検討いただければと思います。

事前に申し上げたのですが、1月、2月、3月は予測値なので、この月に何かあると、検討が緩くなるという話は伝えていましたが、中間報告会をやるとそれがなくなりますので、委員の皆様の反対がないようでしたら、ぜひ検討いただきたい。予算の話がありますので、ハードルがあるかもしれませんが、検討をお願いできればと思います。

他にご意見、ご質問ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

無いようでしたら、以上で議事を終了いたします。ありがとうございました。進行を事務局へお返しいたします。

## 7. その他

(事務局) 皆様、いろいろなご意見をいただきまして、ありがとうございました。  
次第の7になりますが、その他ということで、全体を通してご質問等ありますでしょうか。なければ、最後に事務局から連絡をいたします。

(事務局) スケジュールについてですが、今年度、次回開催は2月を予定しております。その前に庁内の委員会を予定通り開催。今この場でご意見いただきました、様式の改善はやっていきたいと思えます。大事な意見をまとめられるように改めたいと思えます。その上で2月開催の案内をさせていただきます。

## 8. 閉会

(事務局) 本日は予定しておりました議事は全て終了いたしました。以上をもちまして第1回燕市人権教育・啓発推進委員会を閉会とさせていただきます。本日は皆様、ありがとうございました。